

企業編

株式会社きんつぎ（愛知県瀬戸市末広町）



不動産 × 建築で地域づくりに
取り組む「きんつぎ」
瀬戸のまちづくり拠点をオープン！

● 目的

株式会社きんつぎは、「地域の豊かなくらしが持続するための仕組みを創る」をビジョンに掲げ、不動産や建築の専門性を活かした地域づくりに取り組む、愛知県瀬戸市の企業である。地域として捉える範囲を徒歩 15 分圏内とし、“微地域”と呼ぶ。その地域が培ってきた歴史、文化や街のニーズをリサーチし、その背景から導き出されたデザインを描くことで、地域らしさを大切に場所を創り出している。

同社は、瀬戸のポテンシャルを一過性の流行りにしたくないとの思いから、新しい事業をスタートすることに。地域資源を後世に引き継ぎ、新しい文化を生み出す、いわゆる「ぬかどこ」といえる醸成拠点を立ち上げる。商店街の元洋装店を改装し、2023 年4月に「瀬戸くらし研究所」がオープンし、新しい取組が始まる一。

● 取組概要

「瀬戸くらし研究所」の目指す姿は3つ。「①観光で訪れた方が気軽に寄り、まちの情報を集められる」、「②陶芸・アート・飲食などの“ツクリテ”の方が発表できる」、「③地域の方の日常を楽しむ体験型商店街」だ。陶芸作家に留まらず、食を作る方や学びを提供する方など、瀬戸が培ってきた文化の中心である“ツクリテ”さんの表現の場を商店街につくり、街の賑わいを醸造していく。1階には、気軽に立ち寄れるフードコートのような広場や、シェアキッチン、ギャラリー、DIY ができるシェア工房をつくり、自由にゆっくり過ごせるワークショップスペースと、地域の交流拠点となるような場所に。2階は、コワーキングスやレンタルスペースを設け、イベントや教室を開催するような場を想定しており、「学び」の場としての利用を期待する。

● 今後の展開

「瀬戸くらし研究所」をはじめとして、「地域の豊かな暮らしを持続させたい!」という強い思いでまちづくりに取り組む、株式会社きんつぎ。瀬戸には、築 100 年以上の民家や窯垣が残り、陶器のまちとして知られる。これらの地域資源を瀬戸の街に残していくには、残したいという想いだけでは難しい。経済を回す持続的な仕組みが必要であると感じている。その仕組みの一つとして、「瀬戸くらし研究所」の活動をスタートする。商店街内にオープンする新しい地点から、地域内に“賑わい”と“経済循環”が生まれることを目指す。



株式会社きんつぎ 愛知県瀬戸市末広町 2-22



0561-50-2636



株式会社きんつぎ